

# ダム事業の概要

ダム事業は河川事業と同様に治水事業の根幹的対策であり、その機能は「洪水調節」「流水の正常な機能維持」「利水(水道用水、工業用水の供給、かんがい用水の補給および水力発電)」など多岐にわたっています。北海道では冬季に降雨が集中するため、雪解け水を貯留し安定したかんがい用水を供給するダムは、日本の食糧基地である北海道農業を支えています。また、北海道の約20%の電力を供給している水力発電は、低炭素化社会の形成にも貢献しています。

北海道内におけるダム事業は、直轄建設事業を3事業(沙流川総合開発事業、幾春別川総合開発事業、サンルダム)、直轄実施計画調査を1事業(雨竜川ダム再生事業)、補助建設事業を1事業(厚幌ダム)実施しています。また、国土交通省所管事業における管理ダムは、直轄で16ダム、補助で17ダムあります。

ダム事業図



凡例

- :ダム建設[直轄]
- :実施計画調査[直轄]
- :ダム建設[補助]
- :ダム管理[直轄]
- :主要都市

(参考)事業の紹介

各事業内容の詳しいホームページへリンクしています。

□ ダム事業について

北海道のダム事業

□ ストック効果について

平成28年8月北海道大雨  
金山ダムの効果

ダム一覧

■ 建設

- ①: 平取ダム
- ②: 新桂沢ダム
- ③: 三笠ぼんべつダム
- ④: サンルダム
- ⑤: 雨竜川ダム
- ⑥: 厚幌ダム

■ 管理[直轄]

- |          |              |
|----------|--------------|
| ⑦: 金山ダム  | ⑮: 鹿ノ子ダム     |
| ⑧: 大雪ダム  | ⑯: 十勝ダム      |
| ⑨: 漁川ダム  | ⑰: 札内川ダム     |
| ⑩: 豊平峡ダム | ⑱: 二風谷ダム     |
| ⑪: 定山溪ダム | ⑲: 美利河ダム     |
| ⑫: 滝里ダム  | ⑳: 留萌ダム      |
| ⑬: 忠別ダム  | ㉑: 夕張シューパロダム |
| ⑭: 岩尾内ダム |              |

幾春別川総合開発事業で現在建設中の新桂沢ダムは、直轄ダムでは全国初の同軸嵩上げダムです。また、サンルダム及び厚幌ダムは新技術である台形CSG形式を採用しており、積極的にコスト縮減と環境負荷の軽減に取り組んでいます。さらに、既設ダムを有効活用する「ダム再生」を推進する取り組みとして、雨竜川ダム再生事業の実施計画調査に着手しています。